村報 東郷

第210号
昭和44年1月20日
発行所
宮崎県東臼杵郡
東郷村役場

春頌

旦元酉己

昭和四十四年の新春を迎えて

村長　小野　弘

光りに満ち溢れた昭和四十四年の新春を迎えましたことは誠に喜ばしいことで村民の皆様に心から御祝いを申し上げる次第であります。

昨年は比較的に平穏な年でありましたが、色々反省をしてみますと亦多難な年でもありました。気候の不順によって稲作等に色々な障害もありましたが、一昨年と全様の豊作に恵まれ他の産業も夫々伸びをみて将来の飛躍に期待が持てる様になったと思うのであります。然し反面全国的な米の増産によって生産過剰となり、四十四年以降稲作の転換を考えねばならぬと云う時態になり、亦将来を期待する密柑に於きましても一昨年を大幅に下廻る価格の下落と云う現象は関係者を心痛させている処であります。何れに致しましても今後農政各般に亘り抜本的対策を講ずる必要に迫まられていると考えられるのであります。此処に新しい年を迎ゆるに当り過去の歩みに思いを致し現状を充分に認識して今年こそ充実と躍進の年とせねばならぬと覚悟を新たにするものであります。

私は村政は常に村民の心を心として村民奉仕に徹する行政でなければならぬと考えているものでありますが、努力の足らざる処その真意を生かして村民各位の期待に沿わぬ処が多々ありますことは誠に申訳けなく深く反省をしているものであります。過去一年間村議会を始め村民各位の指導と協力によりまして今日あることは誠に感謝に堪えぬ処で、この機会に厚く御礼申し上げる次第であります。

扨て、昨年は明治百年に当りますのでこの年を記念して将来村の発展を図るべく各方面の意見を綜合して次の事業を実施することになりました。その事業は町制施行、村民憲章、村民歌の制定、綜合グラウンドを有する公民館体育館の建設、記念造林と各般に亘るものでありますが、財源の都合もあり一挙に完成することは困難でありますので遂次計劃を立てゝ事業を進めることにしておりますが、可及的速やかに実現に努力しなければならぬと考え、本年には公民館体育館を除く事業に着手したいと考えています。

昭和四十一年認定を受けました美々津地域の国営による開拓パイロット事業は当初寺迫区と福瀬区の一部でありましたが、山陰地区より熱烈な希望がありこれが編入方につき関係方面に折衝した処、新たに山陰地区も加えることとなり村内に於て約千ヘクタールの開拓を行なう大事業となったのであります。この事業につきましては本年中に用地の調達をいたしまして昭和四十五年には実施に入る様努力をしなければならぬと考えますが、この事業では何をおいても用地の調達が事業の成否を決めることになりますので、関係者の協力を切に御願いする次第であります。既に実施を致しました農業改善の事業と合せてこの開拓パイロット事業を完成することにより更に本村農業の近代化を推進したいと考えている処であります。

林業に於きましては昨年末四十四年を第一年として三ケ年に亘る林業構造改善事業の指定を受けましたので、本年におきましては愈々着手の段階となったのであります。林野面積率八七%を有する本村にとりましては今後の林政の方向付をするものとして大きな期待を持っているのであります。

教育の面に於きましては学校教育、社会教育の推進は勿論でありますが施設の面におきまして昨年越表小学校の僻地集会室と東郷小学校の屋内体操場の建設が決定し、本年三月には落成の運びにしております。本年におきましては坪谷小学校の屋内体操場の建設を考えていますが、其の他の施設につきましても出来る限り充実を図り教育の効率をあげたいと思います。近時教育正常化の問題が抬頭しておりますが、かゝる問題につきましては関係各位と熱意を以て解決に当り教育本来の姿で向上或は積極的な村民性の人造りに努力したいと思います。

社会福祉の増進につきましては既設の保育園、保育所、老人ホーム等の施設を充実するは勿論でありますが、経済生長が人的物的に大きな恵みを与えている今日恵まれない幼児、老人、生活困窮者に対しては温い手をさしのべてお互い、幸せな生活を送る様格段の努力をしたいと思います。亦本年には給水に最も困難している小野田、鶴之内を対象に簡易水道の施設にも取組みたいと思います。

昨年に於て道路の整備につきましては県道、村道共に可なり意慾的に取組んだ心算をしていますが最近自動車の激増は尚かつ足らざるものが多々ある様であります。産業経済文化の面から考えて本村に於ける道路行政は正に焦眉の急を要する問題であると考えます。昨年に於きましては県道工事の為、前田老谷線の村道工事を繰上げ施行致しましたので、国県の援助も得て村内道路の整備につきましては一層の努力を傾注したいと存じます。

この外本村に於ける文化のシンボルとも云うべき牧水記念館の運営につきましては、昨年中に約五千人の見学者がみえ運営も漸次向上していますが、施設の整備更に内容の充実につきましては村としての後援が是非必要であります。文化事業に生産はないのでありますけれども豊かな村を造るには経済事業と文化事業を並行して推進することが文化の向上、豊かな生活を築く為大事な仕事であると考えます。

以上昨年に於ける主なる事業と今後に於ける希望の一端を述べたのでありますが、この外本年に於ては病院或は国民健康保険事業の運営等むつかしい問題が山積しています。最近に於ける町村財政は極めて豊かであるが如く喧伝されて、国の財政逼迫から地方財源への喰込み乃至附与財源搾除の傾向が出てようやく立ち直ろうとしている地方財政を亦々苦境に落し入れ様としています。村の国有財源も愈々枯渇し苦しい財源難にあえぎ乍らも住民サービスの面では益々増大の方向にあります。かゝる矛盾と対抗し乍ら今後の行政を進めてゆかねばならぬのでありますが、かゝる時こそ村民各位が一致協力してこの苦境を乗り切らなければならぬと思う次第であります。この村に生を享けこの村に生きることを心から祝福出来る様、今後の村政に対して最大の御支援を願う次第であります。

最後に村民各位の健康と御多幸をお祈りして年頭の挨拶と致します。

年頭に当りて

組合長　黒木松美

昭和四十四年の新春を皆様と共に寿ぐことの出来ますことを心から嬉しく思います。新年は周期的にしかも正確に廻って来るものでありながら、それでいて、新年ほど私達に新たな希望を抱かせるものはありません。今年こそはという新しい覚悟が、人々に喜びと希望をあたえ、計画と期待を持たせてくれるのであります。このことは私達各人各様の過去の記録から更に一段の飛躍を企画させ、且又向上の機会と勇気を与えてくれるものでありまして、この意味からしましても新年は誠に有難いものだと私は思うのであります。

さて私共の農協の運営も皆様方の絶大な御協力により事業量も増大して今日では真に農業に従事するものゝ組織として、その責任と任務を如何にして果すべきか、ということに日夜努力を致していますがこのことは急速に成長を遂げつゝあります日本経済の中にあってはなかなか容易な業ではありません。特に高度成長政策の影響を受けて農村経済が大変貌を来しなおこれからも更に大きく変化を続けるであろうことも確かであることを思うとき、今後に於ける農協運営の難さと、その責任の重大さを痛感する次第であります。

私は新春を迎えて新しい決意と勇気と希望に心を燃やしこれ等の問題解決に努力を尽す所存であります。今年は酉年であり正に平和と繁栄の年と言はれていますが、それと共に新なる世紀明治百一年の道標に立つ新春でもあります。又「農協発足以来二十一年」農協がいよいよ大人となっての第一歩を踏み出す真に意義深い年でもあります。この歳にあたり私共の農協が予想される諸般の極めて厳しい問題を乗り越えて組合員に信頼され、敬愛され更に一大発展を遂げることの出来ますよう、組合の皆様方の御理解ある御指導と御協力を切にお願い申上げますと共に組合員の皆様方の積極的な御活動と御健康を心から御祈り申し上げまして年頭の御挨拶と致します。

新春に思う

村議　三浦治郎吉

元旦の今眠れる天地を覚醒する鐘の音と共に明治百壱年を迎え、弐百年の第一歩とも云うべき新年に当り村民挙って新風が吹き来たらんと私共の胸襟は理想と夢に躍動するを奮い起こしたいものである。正に宇宙時代は到来した夢の如き夢が実現する、常に此の時代感覚に認識を高め本村の行政に経済に教育に村民一心一体となり、総てに向かって培かい村民生活の足並を一緒に揃えて生きたい事を年頭に望み御挨拶に代えたい。

坪谷中校長　火宮和雄

父の齢　追い越して　今
生きて行くこの道　いよ
いよ嶮しきを見る
静かで力強き　前進の昭
和四十四年でありたいも
のです

藤崎今朝男

昭和四十四年の新春にあたり村民の皆様に年頭の御挨拶を申し上げます。役場を辞して一年半現在は以前と全く逆の立場にたって区長として末端の仕事を預り地域の福祉の困難さを痛感しております。此の際今までの体験を充分活かして此の一年にとりくむ決意です。将来共御指導を願います。

東郷小校長　東郷敏雄

新年おめでとうございます。

七〇年安保闘争の前哨戦が日に日に破壊的危機感となって身に沁みてくる。

不死鳥はその身を火に焼き、その中から新たに蘇がえる。社会も死んで始めて新たに生きると、「不死鳥は御免だ」と小泉先生は叫ばれた。最もなことだ。建設のための破壊とはいえ、これ以上御免だ。教育界の正常化を熱望。

村婦協長　都甲アサヱ

新春のおよろこびを申し上げます。

今年は村におきましても色々と大事業の年でございます。私達は家族の健康に気をつけ、青少年の育成、交通事故防止等、社会の母親として学習することがたくさんあります。常に私達は前進して明るい家庭、明るい環境を築きたいものでございます。

村議　田中利吉

輝やかしい新春を迎えおめでとうございます。

かえり見れば日本の状勢は何時になったら正常化出来るのだろうか。大学騒動が泥沼の中で行詰り、マスコミの商業化が一億総白痴化的な雑音痴態をくり広げている中に、我々には社会の一員として、今少し明るい社会を作る為に真剣に取組もうとすれば先ず家庭の親達の姿勢を正さなければならないのではなかろうか

村PTA連協長　黒木芳雄

明治百一年の意義ある新春を迎え皆様と共におよろこび申し上げます。

申し上げるまでもなく御承知の通り、昨今の教育界には本ことに困難な問題が山積しておりますが私くしたちはどうかするとこどもの教育を学校で受ける教育だけに力をいれて、社会や家庭での教育をあまり重要視しないのではないでしょうか。次代をになうこどもの幸福な成長を願って父母と教師、社会が心から一体となってこそいかなる困難もおのずから打開の道が見いだされていくものと信じます。ますます本村の教育がより充実し健全なこどもの育成がなされるよう、せつに祈って止みません。

坪谷警察官駐在所　信国敏明

東郷村の皆さんあけましておめでとうございます。昭和四十三年は坪谷駐在所管内だけで十数件の交通事故が発生しました、幸いに死者はありませんでしたが怪我をした人達は悲しんでいます。本年は村民一丸となって交通事故を出来るだけ少なくしていきたく、年頭にあたり御協力お願い致します。

寺迫警察官駐在所　浜砂金喜

東郷村のみなさん一九六九年の新年明けましてお目出度う御座居ます。日本は新しい時代にはいろうとしています。とくに将来の日本をになうみなさんには大きな希望と期待をよせられています。世界は日本の歩みに注目しています。近年日毎に増加しつゝある交通事故防止に努め、盗犯の予防、青少年の非行防止に努力したい。

村青協副会長　佐藤正行

村民の皆さんおめでとうございます。今年は我等の念願でありました総合グランドが完成する事で青年一同喜びにたえません。この気持を忘れずに他の町村に負けない活動をやって行こうと思います。在村青年少数でありますけれども堅く団結し充実した活動へ一歩一歩前進し、村民の皆さんの期待に添うようがんばりますので暖い目で見守って下さい。

渡辺義春

元日や冥土の旅の一里塚
めでたくもありめでた
くもなし

と一休和尚は皮肉ったそうですが、大学問題も沖縄問題も大多数国民が納得し祖先に対しても恥かしくなく子孫に対しても悔のない解決ができ、めでたい記念すべき年にしたいものです。

青婦協副会長　寺原サッヱ

明けましておめでとうございます。

本年は特に人命尊重に心がけ現在の交通事故防止、又青少年非行防止などに互いに注意し合ってりっぱな村民の生活を築こうではありませんか、そして明るいよい村を作りたいものだと思います。

東郷中校長　鈴木政市

アポロ八号が月の周囲を航行し地球への生還が成功したというのに、この地球では相も変らず殺戮が行なわれ、国内でもいざこざが絶えない。学問の場であるべき大学まで斗争に明け暮れている。自己の権利主張には民主々義を云々し不利と見るや集団に物云はせ暴力で事を決せんとする。これでよいのか。本年は特に平和を希うや切なるものがある。

村議　池田亀太郎

皆さん明けましてお目出度うございます。新しい年を迎えて皆様の御多幸をお祈り致します。民衆政治の根幹をなすものは勝れた地方自治の確立であり、それはやがて一国の民衆化を助長し個人の幸福と社会の繁栄を形成するとされています。年頭に当り更に意を新たに社会福祉に邁進する決意でございます、宜しく御指導を御願い致します。

山陰警察官駐在所　斉藤広美

明けましておめでとうございます。

きびしい内外情勢の中に昭和四十四年を迎え決意を新たにして『秩序ある進歩』に貢献したいと念じています。

先ず第一番に、村民各位の自覚を希うと共に悪質違反者即検挙との方針で激増する交通量に対処して事故の防止に努め、ひいては明るい平和なそして発展する東郷村のために、村民各位の幸福のために努力したいと存じます。

消防始式報告

恒例の本村消防始式が一月八日に行なわれた。本年は例年になく好天に恵まれ、各消防団とも日頃の訓練を充分発揮することが出来、その成績も優秀であった。

一、点検長（村長）の講評及び挨拶

昭和四十四年の新春を迎え、此処に東郷村消防団の始式をとり行ない点検を実施することに致しましたのでありますが、知事代理を始め消防関係者多数の御臨席を得て盛大な式典を挙ぐることの出来ますことを厚く御礼申し上げる次第であります。尚亦消防団員の各位には早朝より参集されまして寒気厳しき中にありまして勇壮活潑な動作を展開していただき、日頃鍛錬の精華を発揮されましたことは村民の期待に沿うものとして誠に慶賀に堪えない処で深く感謝申し上ぐる次第であります。本日の点検は既に定められた通常点検要領に基づき綜合成績にありましては指揮者の能力、服装、規律、言語動作、操練簿冊の整理状況、発水時に於ける入退場の動作について、亦発水試験の成績につきましては主として標的落下の時間を中心として点検し厳正公平なる採点を致しました結果、先程表彰した通りの結果となったのであります。これ等の成績を綜合致しまして本年に於ける成績は誠に優秀であると認めたのであります。今後に於きましてはこの成績を更に向上せしめる様格段の努力を希望してやみません。

昭和四十二年度中に於ける災害は県内に於て建物が六八〇件、被害額が弐億八千九百万円、国内に於きまして五三、九三四件で被害額が約四百九拾八億円、この災害の中には一、一〇六名の尊い人命が失われています。本村に於きましては申し上げる様な災害のなかったことは消防団員の努力と村民各位の自覚のたまものと感謝に堪えない処であります。

近時社会の進展に伴いまして漸次向上しているのでありますが、社会の進展或は気象の関係等により災害が著しく変化しているのであります。これ等に対応する施設を講じなければならぬのでありますが、乏しい町村財政に於きましては完璧を期することは出来ません。然し、災害の恐しさを覚ゆるなら多少の困難はあっても最善を尽さなければと思う次第であります。

人的消防力と云い物的消防力と云いその足らざる処を補い、大きな力となるものは旺盛なる消防精神であります。発生した災害に対して一身を犠牲にして被害と戦う崇高なる精神、これが消防精神であります。この崇高なる精神は日頃の訓練によって涵養されると思うのであります。多忙な経済情勢の中にありまして消防精神を鍛錬する機会が仲々困難であろうと思いますが、積極的に参加して村民の期待にそむかざる様御願いしてやみません。

国に於きましても団員の処置につきまして色々改善を図っており、町村に於きましても公務災害の補償、退職、報償、表彰の制度を実施していますが、今少し内容を高度化し優遇する様要望せざるを得ないと思う処であります。消防団員の皆様は団員であると同時に本村に於ける中心的人物、産業推進の戦士であります。今後は健康にも充分注意をして地域発展の為協力を御願いしてやみません。

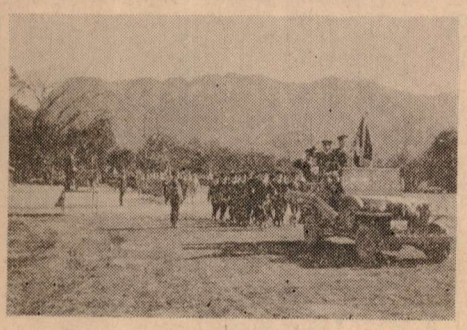
以上をもちまして講評並びに挨拶を終ります。

二、表彰

知事表彰
県消防協会長表彰
第十一部長　三浦　嘉郎
第三部長　佐藤　正一
第八部長　塩月　美秋
第十部長　稲田　喜長
第七部　田代　静夫
第一部長　甲斐　秋義
第二部長　直野　邦嗣
第九部長　那須　秀敏
村長表彰
本部　橋口　岩男
第一部　都甲　勇一
第二部　谷口　将成
第三部　佐藤　輝夫
第四部　福岡　修
第五部　矢野　周
第六部　河野　輝幸
第七部　黒木　福義
第八部　岩見　耕一
第九部　伊藤　晃
本部副部長　田代　稔
第十部　吉田　穂
第十一部　水野　良人
団長表彰
本部　沖田　征郎
〃　黒木　一希
第一部　肥田　俊行
〃　安田　耕作
第二部　中村　幸夫
〃　山田　緑般
第三部　黒木　悟
〃　池田　正利
〃　浜田　正義
第四部　日吉　広美
〃　藤井　義久
第五部　片江　功
〃　岡村　増義
第六部　柳生　重統
〃　安県　一男
第七部　田代　忠孝
〃　田代　栄一
第八部　寺田　紋太郎
〃　伊東　尚
第九部　田原　隆義
〃　稲田　幸男
第十部　黒田　為正
〃　寺田　義春
第十一部　山口　忠男
〃　若杉　善男
◎人命救助により日向警察署長から表彰
第十一部　川上岩見

三、成績

総合の部
一位　第一部
二位　第三部
三位　第四部
教練の部
一位　第三部
二位　第十部
三位　第一部
標的落下の部
一位　第三部
二位　第六部
三位　第十部



写真上から
①器材点検
②一斉放水
③分列行進
④見学の村民

新春に思う

都甲鶴男

皆さん、明けまして御目出とう御座います。今年は東郷村にとっては、大事業完遂のために、多種多様に躍動する年ではないでしょうか。開パ問題、村営グラウンド建設等。

人間は何等かの問題を常にたずさえて生活していく時程充実している。村民の皆さんの御多幸を御祈り申し上げ年頭の辞といたします。

村婦協副会長　木村富貴子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。皆様の暖かい御指導御協力を厚く御礼申し上げます。黎明に暁を告げる酉年に因み、私達も信じ睦み合う婦人の力強い団結で身近な問題に、誠実で責任有る行動、豊かな愛情、より深い知性を学び生活の知恵を巧に活用して、健かで明るい村にしたいと思います。

明日在りと想う心の仇桜
夜半に嵐の吹むものかは　今后も宜敷く。

寺迫小校長　太田平太郎

あけましておめでとうございます。

私は現今の躍進を続ける社会の中で明日への明るい社会をつくる根本の問題は国民の一人一人が正しい人間としての価値観を確立することがだいじなことではないかと思います。

お互いに今年はじっくり考えましょう。

坪谷小校長　甲斐誠男

おめでとうございます。人それぞれの誓いや決意を秘めて、昭和四十四年はまさにスタートいたしました。この一年間も、明暗誠にきびしい世相に接することが予想されますが、現実をふまえた教育と政治の充実を念願し、自分の職責遂行に向かって、更に一歩の前進を期したいものと思います。

村青協長　井本岩根

村民の皆さんには新しい年を迎えられ、すがすがしい気持で一年の計を立てられた事と思います。去年の国内外において色々な事が有りましたが、日本においても大学問題、三億円がぬすまれる問題等が有りましたがこんな事では日本の将来に期待する事が出来なくなるのではないかと思います。我々青年は将来を見つめ若さと勇気と活動力を持ってまいしんしたいと思っています。村民の皆さんの御指導御声援をお願い致しまして、青年団一同にかわりまして年頭のあいさつと致します。

十二月定例村議会報告

東郷村議会十二月定例会は十二月十七日に招集され会期七日間で次の議案を審議何れも原案どおり可決認定しました。

議案第五十一号　昭和四十三年度東郷村一般会計補正予算。

議案第五十二号　昭和四十三年度東郷村国民健康保険特別会計補正予算。

議案第五十三号　昭和四十三年度東郷村国民健康保険病院事業特別会計補正予算。

議案第五十四号　昭和四十三年度東郷村簡易水道事業特別会計補正予算。

議案第五十五号　昭和四十三年度東郷村農業共済事業特別会計補正予算。

議案五十六号　農林水産業施設災害復旧事業の施行について。

認　第一号　昭和四十二年度東郷村一般会計歳入歳出決算の認定。

認　第一号　昭和四十二年度東郷村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定。

認　第三号　昭和四十二年度東郷村ブルドーザ運用事業特別会計歳入歳出決算の認定。

認　第四号　昭和四十二年度東郷村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定。

認　第五号　昭和四十二年度東郷村農業共済事業特別会計歳入歳出決算の認定。

認　第十七号　昭和四十三年度東郷村一般会計歳入歳出決算の認定。

十七日十時開会、村長の議案提案理由の説明があり散会、翌十八日午前十時から午後五時四十分まで時間延長をして一般質問が行なわれました、その要旨は次のとおりです。

問　村の長期行政計画も四十四年度で一応終る。その間計画書に近い事業がなされてきたことは当局の努力によるものと感謝しているが、病院事業に於ては毎年多額の一般会計からの繰出がなされその額は年々増加している。医師の問題等で当局の苦労は察しているがいつまでもこのまゝにしておいてよいものか、昭和四十四年度には明治百年記念事業が計画されこれに要する経費は二千万近くになると思う。村の一般財源としては村税の三千万と地方交付税にしても限度がある、村有林の処分にしても然りである。後二ケ年位したら三～四ケ年非常に苦しい財政になるのではないかと心配する。国営パイロット事業、学校プール建設等の問題もあるが村の将来の財政の見通しについてどの様に考えていられるか。

村長　市町村の財政は国県に依存するところが極めて大きく村独自の財源は僅かに三〇％程度ではなかろうかと思う、特に政府に於ては地方財政が豊かであるとして補助金削減の政策があると伺っている。指摘の様に病院事業に於ては多額の赤字を出しており苦慮している。明治百年の記念事業に相当の財源を必要とするが単年度ではできない、財政の見通しをつけて計画的に実施してゆかねばならない。長期財政計画についても物価、人件費の高騰から今年度或は四十四年度に於て再検討し三ケ年計画をたてたいと考える。何れにしてもこと二、三年財政的に苦しい状態が続くのが国の方針、村自体の財源等にらみ合せて計画し事業は効率的に実施してゆきたい。

問　現在八重原に簡易水道が設置されてこの地区の水不足は解消されたが、各自が水を出し放題で消火栓の水に不足を来し心配している。現在の水源より上の方に水源を求めれば水量も豊富である。住民に節水を注意してはいるが当局はどう考えていられるか。

村長　八重原の水道は計量器がないので計量器によって料金を徴収すれば左様なことはないと思う。計量器をとり付けることが理想で必要と思うが、施設に工事費も要するし関係者の負担の問題もあるので十分検討し善処したい。

問　農業経営の規模拡大にはむつかしい問題がある、国営開パ事業の用地調達は九月からという説明であったが未だにその運びにならない、理由は資金面の調達に困難しているのではないかと思う。生産面に於ても農作物の中核であった水稲をはじめ、煙草は総合農政のもとに作付の規制をしようとされており、みかんも例外ではないと思う。農業政策がこの様に朝令暮改であってよいものか、結果的には借金のみが残るのではないかと農民は危惧している、係る状態にあるときこの事業の推進に対しどの様な信念で指導されるか。

（以下次号）

カーブミラーを愛護しましょう

昭和四十三年十月に入郷地区の県道のなかで、見通しの悪い曲り角に、カーブミラーが設置されました。うち村内には八ケ所設置されています。

このカーブミラーの設置により、見通しの悪い曲り角の多い入郷地区の県道では、交通の安全が保たれています。

ところが、村内に設置されたカーブミラーのうち、二ケ所が破損されその機能が消失してしまいました。

カーブミラーが設置された目的を、村民の皆さんが充分認識し、今後このような事故が発生しないよう御協力を切望いたします。

戸籍の窓

十二月届出分

出生　おめでとう

子の名	父の名	部落
山崎　栄七	竹雄	越表
大野　博	佐織	坪谷
稲田　悦子	茂	八重原
海野ゆかり	純一	坪谷
那須　恵子	良臣	〃
黒木　三代	三郎	迫野内
川越　勉	邦夫	福瀬

結婚　おめでとう

田原隆義〜長野鈴子　八重原
高尾昭一〜西田文子　日向市福瀬村

逝去　ご冥福を祈る

氏名	年令	部落
河野実五郎	七六	越表
橋口重義	五九	〃
小川ミキ	八二	田野
吉田喜三郎	七九	迫野内
田中スギ	八六	小野田
近藤クマ	九三	坪谷